

令和3年度授業評価アンケート結果に基づく 令和4年度の授業改善計画報告書

令和3年度授業評価 アンケート結果について	非常に満足	満足	普通	不満	非常に不満
	2%	50%	46%	2%	0%

	全くできなかった	できなかった	どちらでもない	出来た	よく出来た
シラバスに基づいた授業展開	0%	0%	6%	65%	29%
シラバスに記載したCP, DPの対応	0%	0%	12%	71%	17%
来年度に向けた改善点の抽出	0%	0%	15%	70%	15%

令和3年度授業評価 アンケート結果による 自己評価(抜粋)	授業で使用する資料が小さくて見づらいとの指摘や、授業に参加するにあたり予習や復習を十分にしていないことがアンケート結果により、わかった。学生目線での資料の作成や授業だけでなく授業前後も踏まえた授業教育改善をする必要がある。
	担当科目では、授業外の学修に取り組んでいる学生が不十分だったようなので、授業外学修の内容についてその都度確認をする必要があると考えた。
	オンデマンドの授業でシラバスに基づいた授業を行い、オンラインでは、時事ネタや、ディスカッションなど参加型の授業を行う構成を一年間試みたが、おおむね良好な結果だった。オンラインで積極的に顔出して発言する学生と、顔出ししないでただ聞いているだけの観客学生の学習内容の理解度やレポートの内容レベルが異なっていて、やはり教室授業と同じで主体的に参加しない学生は理解が浅いと感じた。
	シラバス通り授業を展開した点は概ね評価に反映されていると感じた。一方でオンラインと対面の併用授業ではオンライン学生の提出物へのレスポンスが遅くなってしまうことがあったので改善したい。
	学生の授業に対する満足度は高かったようであるが、授業時間以外での学習がまだ足りていないように見受けられる。授業外での自己学習を促すための教材等の紹介をより充実させていきたい。

令和4年度に向けて、 授業改善を行いたい項目 (複数選択可)	授業計画 (シラバス内容)	教材の開発	授業の準備	教授法	成績評価
	15%	38%	31%	50%	15%
	オンライン 授業の対応	その他 (事前事後学修の質・量, 新しい質問コーナーの開設など)			
	63%	6%			

令和4年度の授業改善計画 (抜粋)	令和4年度は、「学生からの理解度や反応に配慮して授業を進める」ことを重視します。そのために、これまで用いてきたパワーポイントに加えて、学生がより興味を持てる視聴覚教材を開発する。また、双方向性の高い授業にするために、学生の質問に答える時間を長めに確保する。
	どうしてもシラバス記載の計画と実際の授業の進度にずれが生じるため、毎回の授業についての学生への説明をより丁寧に行う。
	オンラインにおいても、対面時同様にアクティブラーニングを心掛けている。そのことが授業評価と同関連するかまだ判断が出来ないので、当面継続して工夫していきたい。
	受講の進むスピードに対して、想定していたものと異なる意見があった。こうしたバラツキをできる限り早めに修正できるように柔軟な授業運営を進めていきたい。
	令和3年度は学生の理解度を見極めてから授業内でPPTデータを資料として配布したところ、この資料が学生から好評だった。令和4年度は初回からPPTデータを配布し、予習復習に活用できる資料として配布したい。コロナが落ち着けばもう少し学生との物理的な距離を縮めて、グループワークや討論の時間を確保するなど工夫したい。